

上野村・吉本・前橋水源林・群馬署

神流川森林整備協定を締結

民国連携で間伐促進

神流川流域(源流部)森林整備推進協定
調印式



調印式で。左から宮崎所長、由井社長、黒澤村長、岡井署長

協定者は上野村(黒)〔長野県南佐久郡、由・81杉〕、国有林75
澤八郎村長)、吉本(井正隆社長)、前橋水6・98杉、合計118
源林整備事3・97杉。このうち森
務所(宮崎林整備面積は39・21杉
淳所長)、で、林業専用道150
群馬森林管0杉を整備し、素材生
理署(岡井産量2000立方尺を
芳樹署長)見込んでいる。
の4者。期対象地域の森林は神
間は201流川・鐺川の源流部に
8年4月、当たり、水源涵養・土
20年3月、砂流出保全をはじめと
対象森林面する公益的機能の高度
積は国有林発揮が期待されてい
426・99る。民国連携の路網を
2杉(吉本2整備するほか、効率的
55・18かつ低コストの搬出間
杉、前橋水伐を図っていく。
源林171地元自治体の上野村

神流川流域(源流部)森林整備推進協定の調印式がこのほど、
関東森林管理局で開かれた。民有林と国有林が連携・協力して民
国連携路網を開設し間伐等の森林整備を進め、より健全な森林へ
と導き、地域林業の活性化と森林の公益的機能の高度発揮、素材
生産量拡大等へとつなげていく。

上信越版

は、森林資源を活用し材加工販売などを手掛
た地域内循環型経済にけ、全国に約6000
取り組んでいる。村内杉の社有林がある。素
の原木をベレットに加材生産量は年間約2万
工し、それを燃料にし立方以上に上り、杭丸太
た木質バイオマス発電をはじめとするカラ松
所(出力180kW)をで屈指の取扱量を誇
運営。発電した電力とる。
廃熱をきこのセンター
で利用しており、17年
度バイオマス産業都市
に選定されている。
吉本は山林事業、木
事業所がある。
高性能林業機械の導
入や若手社員の育成に
も力を入れている。上
野村と岩手県岩泉町に